

## 事業別評価調書 (チェックリスト)

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p><b>【地元住民・受益対象者の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の意向 都市化に伴う公共用水域（河川・水路等）への汚水流入による水質悪化・臭気対策などの環境改善のため汚水処理施設整備の要望が出された。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 自治振興協議会や町内会を通じ、未整備地区（市街化区域等の人口の集中した地区）からの下水道（汚水）整備の要望が依然強い。</p> <p><b>【関係機関・団体の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の意向 昭和38年に福島駅を中心とした旧市街地を計画区域として定め、福島市都市計画公共下水道事業認可を国から受け合流式下水道による整備に着手した。 福島県は、昭和47年に阿武隈川流域別下水道整備総合計画を策定し、昭和58年に事業認可を受け、阿武隈川上流流域下水道（県北処理区）事業に着手している。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 『ふくしまの美しい水環境整備構想』（平成22年度福島県策定）により、更なる下水道普及の向上が望まれている。</p>	コスト削減や代替案等の可能性	<p><b>【計画変更の必要性】</b></p> <p>(1) 必要性の有無      <input checked="" type="radio"/> 有      <input type="radio"/> 無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容 人口減少や高齢化の進展など、社会構造の変化により、汚水処理施設の整備を取り巻く環境が変化していること等、汚水処理施設の整備には一層の効率化が求められていることから、下水道計画の見直しが必要。</p>				
	<p><b>【代替案立案の可能性】</b></p> <p>今後の下水道計画については、個別処理（合併処理浄化槽）との役割分担を見直していく。</p>		<p><b>【コスト削減の取り組み等】</b> (特記すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設副産物の再利用</li> <li>・マンホール間の延伸やマンホールの小型化</li> <li>・道路管理者が実施する改良工事との連携</li> </ul>				
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">AA · A · B · C</td> </tr> </table>	評価	AA · A · B · C		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">AA · A · B · C</td> </tr> </table>	評価	AA · A · B · C
評価	AA · A · B · C						
評価	AA · A · B · C						
費用対効果分析等の要因の変化	<p><b>【費用対効果分析】</b></p> <p>(1) 手法 下水道事業における費用効果分析マニュアル</p> <p>(2) 費用対効果の変化 前回の事業評価では、費用便益比は1.6となった。その後、事業をとりまく社会経済情勢の変化はあったものの汚水処理施設整備の費用対効果への大きな影響はない。</p> <p><b>【費用の変化等で特記すべき事項】</b> 特になし。</p> <p><b>【需要効果の変化等で特記すべき事項】</b> 事業整備の期間が長期にわたると事業効果は小さくなる。</p>	総合評価と対応方針	<p><b>【総合評価と対応方針】</b></p> <p>(1) 総合評価 ※上記の各視点毎の評価結果を踏まえ、総合的に記述する。 大規模かつ長期間に及ぶ事業であるが、公共用水域の水質保全・生活環境の改善等、下水道整備による効果が現れている。</p> <p>(2) 対応方針案及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応方針案</th> <th style="width: 80%;">継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">現在の公共下水道普及率は全国と比較し低いいため、事業認可区域については事業を継続して整備を進める。しかしながら、人口減少や高齢化の進展など、社会構造の変化や厳しい財政状況を勘案し、適宜計画の見直しを行いながら、生活環境の改善並びに阿武隈川流域の水質保全を図る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p>	対応方針案	継続	今後の事業の進め方	現在の公共下水道普及率は全国と比較し低いいため、事業認可区域については事業を継続して整備を進める。しかしながら、人口減少や高齢化の進展など、社会構造の変化や厳しい財政状況を勘案し、適宜計画の見直しを行いながら、生活環境の改善並びに阿武隈川流域の水質保全を図る。
	対応方針案		継続				
今後の事業の進め方	現在の公共下水道普及率は全国と比較し低いいため、事業認可区域については事業を継続して整備を進める。しかしながら、人口減少や高齢化の進展など、社会構造の変化や厳しい財政状況を勘案し、適宜計画の見直しを行いながら、生活環境の改善並びに阿武隈川流域の水質保全を図る。						
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">AA · A · B · C</td> </tr> </table>	評価	AA · A · B · C	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">AA · A · B · C</td> </tr> </table>	評価	AA · A · B · C		
評価	AA · A · B · C						
評価	AA · A · B · C						